

立命館大教授・松宮孝明×映画監督・森達也 対談

「言論弾圧事件」

として日本学術会議問題を考える

12月17日（木曜）14:30～ オンライン配信 自由と平和のための京大有志の会
twitter / facebook / HPを検索下さい。

この問題は、学問の自由への侵害のみに止まりません。
これは、表現の自由への侵害であり、言論の自由への明確な挑戦です。
（映画人有志による「日本学術会議への人事介入に対する抗議声明」より）



森達也（映画監督・作家）

地下鉄サリン事件発生後、オウム信者たちを描いた『A』が98年に劇場公開され、ベルリン国際映画祭など多数の海外映画祭でも上映された。16年には、ゴーストライター騒動をテーマとする映画『Fake』を発表した。19年、東京新聞社会部記者の望月衣塑子氏にカメラを向けたドキュメンタリー映画『i-新聞記者ドキュメントー』を発表した。

松宮孝明（立命館大学教授）

刑法学者。日本刑法学会理事。著書に『「共謀罪」を問う: 法の解釈・運用をめぐる問題点』（2017年、法律文化社）、『刑法総論講義 第5版補訂版』（2018年、成文堂）、訳書に『ギュンター・ヤコブス著作集 第1巻』（2015年、成文堂）など。

